

# 地域調査の手法

## 1 単元のねらい

対象となる場所の特徴などに着目して，地域調査を行うことを通して，目的や用途に適した手法でさまざまな資料を的確に読み取ったり，活用したりする地理的技能を身に付けるとともに，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察したり，表現したりすることができる。

## 2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方の基礎を理解している。また，地形図や主題図の読図，目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。	地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目して，適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現している。	地域調査の手法について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

●学習改善につなげる評価      ○評定に用いる評価

	1	2・3	4・5	6	7
知識・技能		●	○	●	
思考・判断・表現				○	○
主体的に学習に取り組む態度	○		●		●

### 3 単元構造図（全7時間）☆獲得する知識

<b>単元名</b> 地域調査 の手法	<b>単元学習前の生徒の認識</b> これまで世界の各州の特色を学習してきた。これから日本の地域的特色を学んでいくが、どんな視点や方法で調べていくとよいのだろう。
---------------------------	--

#### 第1時 調査の準備① 【○主体的に学習に取り組む態度】

**身近な地域を調べるためには、どんな準備をするとよいのだろう。**

身近な地域（□□市）について振り返って考えてみると、自然や人口、産業、交通などさまざまな面での特色があることが分かった。私たちのグループでは、「(例) □□市で、どうしたら土砂災害の被害を減らすことができるか」について疑問に思ったので、これから調べていきたい。

さまざまな手法で身近な地域を調査しよう。

#### 第2・3時 調査の準備② 地形図の読み取り方 【●知識・技能】

**土地利用について読み取ろう。** ☆縮尺 ☆等高線 ☆尾根 ☆谷

縮尺や方位、等高線、地図記号に注目して、地形図から身近な地域（□□市）の土地利用の特色を読み取ることができると分かった。空中写真やデジタル地図も使いながら、どうしたら土砂災害の被害を減らすことができるか調べていきたい。

#### 第4・5時 野外観察・聞き取り調査、資料を使った調査

【●主体的に学習に取り組む態度 ○知識・技能】

**適切な方法で調査を進めよう。**

野外調査や聞き取り調査、資料を使った調査の仕方が分かった。調べたいことに合わせて調査方法を選び、身近な地域（□□市）やテーマについて調査を進めていきたい。

#### 第6時 調査のまとめ 【●知識・技能 ○思考・判断・表現】

**調査してきたことをまとめよう。**

調べたことをまとめる方法は、内容によって異なるので、違いを意識してまとめていきたい。私のグループでは、最初に立てた仮説と結論が異なるので、仲間にもアドバイスをもらいながら考察して、発表できるように準備したい。

#### 第7時 調査結果の発表 【●主体的に学習に取り組む態度 ○思考・判断・表現】

**調査してきたこと発表しよう。**

資料の見せ方を意識しながら発表することができた。△△さんは、2つの地図を重ねて提示していたので、2つの分布の関連性がよく分かった。□□市では、北部に土砂災害のハザードマップで赤色で示されたエリアが多い。そして、この地域は、人口に占める高齢者の割合が高いので、早めに安全に避難する方法を考えていかなければいけないと思った。

#### 単元学習後の生徒の認識

身近な地域（□□市）について改めて調べてみると、さまざまな特色があることが分かった。調査して分かった地域の特色や課題を意識して、これから地域の一員としての自覚をもって生活していきたい。そして、この単元で学んだ視点や方法を生かして、日本の特色を追究していきたい。

#### 4 単元指導計画

時	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
1 調査の準備	身近な地域の調査テーマに基づいて、見通しをもって調査方法・調査計画を立て、主体的に追究することができる。	<p>1 これまでの学習を振り返り、単元を貫く課題と本時の課題を設定する。 《単元を貫く課題》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>さまざまな手法で身近な地域を調査しよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>身近な地域を調べるためには、どんな準備をするとよいのだろう。</p> </div> <p>2 日常生活を振り返る中で、身近な地域（□□市）について、自分が興味や関心をもっていること、疑問に思っていること書き出す。</p> <p>3 2の内容をグループの仲間で共有し、調査テーマと仮説を設定する。 例：「□□市で、土砂災害の被害を減らすには、どうしたらよいのだろう。」 →①できるだけ早く安全な場所に行くことが必要だろう。 ②お年寄りなど、避難に時間がかかりそうな人たちを助ける必要があるだろう。</p> <p>4 グループで具体的な調査計画を立てる。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>身近な地域の特色や課題を予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。 態度＝ノート、追究の様子</p>	<p>①から④の視点を意識させながら、「なぜ・・・なのか」、「・・・するにはどうするとよいか」といった問いを設定できるようにする。</p> <p>① 自然環境・防災 ② 人口 ③ 産業や土地利用の変化 ④ 交通の発達や他地域との結び付き</p>
		<p>身近な地域（□□市）について振り返って考えてみると、自然や人口、産業、交通などさまざまな面で特色があることが分った。私たちのグループでは、「(例) □□市で、どうしたら土砂災害の被害を減らすことができるか」について疑問に思ったので、これから調べていきたい。</p>		
2・3 地形図の読み取り方	地形図や空中写真、デジタル地図などを活用して調べることを通して、土地利用や地形の特徴、地域の変化を読み取ることができる。	<p>1 前時を振り返り本時の課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>土地利用について読み取ろう。</p> </div> <p>2 縮尺、方位、等高線、地形図の仕組みについて確認する。</p> <p>3 「読み取る」に取り組む。</p> <p>4 実際に地形図を読み取る際のポイントや空中写真との比較の仕方について確認する。</p> <p>5 デジタル地図の使い方や新旧の地形図の比較の仕方について確認する。</p> <p>6 国土地理院のウェブページから身近な地域（□□市）の地形図や空中写真を確認する。また、二次元コードを読み取り、デジタル地図で身近な地域（□□市）を見る。</p> <p>7 身近な地域（□□市）の土地利用について、4～6の学習活動で読み取ったことを交流する。</p> <p>8 まとめをする。</p>	<p>地形図や空中写真、デジタル地図、新旧地図を活用して、地域の様子や変化の読み取る方法を理解し、地理的技能を身に付けている。 技能＝ノート</p>	<p>方位や地図記号については、小学校で学んだ知識を振り返りながら指導する。</p> <p>尾根と谷の違い、等高線との関連についても指導する。</p> <p>◇「読み取る」</p> <p>地形図が測量された年と、空中写真が撮影された年が異なる場合があることに留意するよう指導する。</p> <p>I C Tの活用にな慣れな生徒に対して確実に机間指導を行う。</p>
		<p>縮尺や方位、等高線、地図記号に注目して、地形図から身近な地域（□□市）の土地利用の特色を読み取ることができると分かった。空中写真やデジタル地図も使いながら、どうしたら土砂災害の被害を減らすことができるか調べていきたい。</p>		

時	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点						
4・5 野外調査・聞き取り調査・資料を使った調査	テーマについて調査することを通して、地域調査の手法やさまざまな資料を収集する方法を理解し、地域の特色をと捉えることができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>前時を振り返り本時の課題を設定する。 <b>適切な方法で調査を進めよう。</b></li> <li>野外調査と聞き取り調査、資料を使った調査の違いや進め方、留意事項について確認する。  <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>野外調査</th> <th>聞き取り調査</th> <th>資料を使った調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活や人の移動、土地利用について</td> <td>生活や仕事の中の工夫や苦勞について</td> <td>文献や統計、地図、写真</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>調べたい内容に応じて、調査方法を選択し、グループ内で分担して調査を進める。</li> <li>まとめをする。</li> </ol>	野外調査	聞き取り調査	資料を使った調査	生活や人の移動、土地利用について	生活や仕事の中の工夫や苦勞について	文献や統計、地図、写真	<p>地域調査の視点や方法を理解し、さまざまな資料から有用な情報を選択して、地域の特色を読み取るなどの地理的技能を身に付けている。 技能＝活動の様子</p>	<p>野外調査を行う場合は、事前にルートや所要時間などに関する計画を立て、見通しをもって調査できるよう指導する。</p> <p>聞き取り調査の場合は、事前に訪問場所に連絡を取り、許可をもらう。訪問後はお礼を伝えられるよう指導する。</p> <p>◇「調査に役立つ資料を集める」</p> <p>聞きたい内容を事前に整理してから、調査ができるよう指導する。</p>
野外調査	聞き取り調査	資料を使った調査								
生活や人の移動、土地利用について	生活や仕事の中の工夫や苦勞について	文献や統計、地図、写真								
野外調査や聞き取り調査、資料を使った調査の仕方が分かった。調べたいことに合わせて調査方法を選び、身近な地域（□□市）やテーマについて調査を進めていきたい。										
6 調査のまとめ	調査して分かったことをまとめることを通して、身近な地域の調査テーマに対して多面的・多角的に考察することができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>前時を振り返り本時の課題を設定する。 <b>調査してきたことをまとめよう。</b></li> <li>調査結果をまとめるための統計資料や地図の活用の仕方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>数や量を比べる時は棒グラフに、変化を表す時は折れ線グラフに表すとよい。</li> <li>ドットマップ、階級区分図、図形表現図、流線図など目的に応じて地図にまとめるとよい。</li> </ul> </li> <li>発表する際の留意点を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>流れに沿って発表する。</li> <li>資料を示して分かりやすくする。</li> <li>文字は大きく書く。</li> <li>資料の入手先、出典を明記する。</li> <li>調べて分かったことと自分が考えたことを区別する。</li> </ul> </li> <li>調査結果をまとめ、発表の準備を進める。</li> <li>本時のまとめをする。</li> </ol>	<p>地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察している。 技能＝活動の様子、発言</p>	<p>◇「統計資料を使ったグラフの作成」・「さまざまな地図のまとめ方」</p> <p>◇「発表の方法」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 動機と目的</li> <li>② 仮説と調査方法</li> <li>③ 調査で分かったこと</li> <li>④ まとめ</li> <li>⑤ 地域の課題や解決策の提案</li> </ol>						
調べたことをまとめる方法は、内容によって異なるので、違いを意識してまとめていきたい。私のグループでは、最初に立てた仮説と結論が異なるので、仲間にもアドバイスをもらいながら考察して、発表できるように準備したい。										

時	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
7 調査結果の発表	身近な地域について調べてきたことを分かりやすく発表したり、仲間の発表から身近な地域をよりよくするために必要なことを多面的・多角的に考えたりすることができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時を振り返り本時の課題を設定する。 <b>調査してきたこと発表しよう。</b></li> <li>2 発表する際の留意事項を確認する。</li> <li>3 グループごとに発表する。聞く側の生徒は、自分たちのグループの調査と関連付けながら聞く。</li> <li>4 質疑応答や意見交流を通して、身近な地域（□□市）に対する考えを広げたり、深めたりする。</li> <li>5 本時のまとめをする。</li> </ol> <p>資料の見せ方を意識しながら発表することができた。△△さんは、2つの地図を重ねて提示していたので、2つの分布の関連性がよく分かった。□□市では、北部に土砂災害のハザードマップで赤色で示されたエリアが多い。そして、この地域は、人口に占める高齢者の割合が高いので、早めに安全に避難する方法を考えていかなければいけないと思った。</p>	聞く人に内容が分かりやすいように工夫して発表するとともに、仲間の発表から身近な地域をよりよくするために必要なことを多面的・多角的に考えている。 思考＝ノート，発言	ほかのグループの発表を聞く際には、自分たちの調査と関連する内容や仲間の発表のよかった点をメモするよう指導する。